

車種別取付資料

ES-89Light — 配線する信号はⒺ表示です。

BOX No. 139411

| | | | | | | |
|------|-----|------------|----------------|----------|--------|-------------------|
| 車両情報 | ホンダ | N-BOX | 平成23年12月~29年8月 | JF1/JF2系 | 1/4ページ | Type N.L. Opt. |
| | | N-BOX+ | 平成24年 7月~ | JF1/JF2系 | | |
| | | N-BOXスラッシュ | 平成26年12月~ | JF1/JF2系 | | |

① プッシュスタート&セキュリティアラーム付き (全車)

◎カバー類の取り外しで運転席側カバーは、このページを参照。ヒューズBOXの外し方は、2/4ページを参照して必ず手順のとおりに行ってください。

重要!

◎ヒューズBOXを外す作業の前に、必ず車両のバッテリー（マイナス端子）を外してください。

・ヒューズBOX内にはECUがあるため、バッテリーを外さずにカプラの抜き差しを行うと、ECUが故障する恐れがあります。

・バッテリーの接続は、必ず全てのカプラ接続作業を完了した後で行ってください。

① 注意事項：イモビライザーについて

- ・エンジンイモビライザーが、全車標準装着されています。
- ・エンジンスターターは、イモビライザー対応モデル（受信機に4極コネクタが付いているモデル）のみ取り付けできます。
- ・取り付けの際は、H-11イモビユニット・VH201Eハーネスセット（品番：EP152）または、H-11イモビユニット・VH202Eハーネスセット（品番：EP153）を使用します。

① 使用上の注意事項

① ドアロック/アンロックについて。

- ・エンジンスターターでアイドリング中は、車両のスマートキー操作により、ドアロック/アンロックが作動します。（キーレスエントリーのボタンでは作動しません）
- ・エンジンスターターのリモコン（ドアロック/アンロック機能付きモデル）によるドアロック/アンロックはアイドリング中にも作動します。リモコンの操作に連動して、車両のハザードが点滅します。（ドアロック時：1回点滅、アンロック時：2回点滅）

② ドアタイマー機能は使用できません。

- ・ドアタイマー機能を「使用しない」に設定して、ドアを開けたときにエンジンを止まるようにしてください。または、リモコンのSTOP操作でエンジンを止めてからドアを開けてください。

③ アフターアイドリング機能は使用できません。

- ・絶対にアフターアイドリング機能を使用しないでください。
- ・機能を「使用する」に設定された場合、走行してエンジン停止後に車両のACC電源がOFFしないためバッテリーが上がります。

④ クランキング時間の設定機能は使用できません。

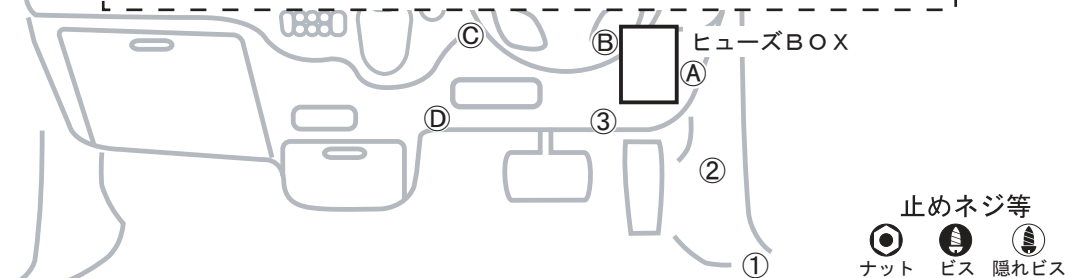
- ・この機能の設定操作は行わないでください。設定の必要性もありません。

① 運転席側カバー類の外し方

- ① 右サイドステップカバー
 - ・上側に引っ張って外す。
 - ② 右サイドカバー
 - ・手前側（車両後方方向）に引っ張って外す。
 - ・ナイロンクリップが車体側に2本残るので、外してサイドカバーに戻すこと。
 - ③ ロアカバー
 - ・コラムのチルトステアリングを一番上側の位置にする。
 - ・カバーの右側A→右上B→左上C→左下側Dの順番で、手前側に引っ張ってフックを外す。
- ※順番に外さないと、左上Cの部分のフックが外れなくなります。
※フックのツメが固いので、必要によりハンディリムーバ等を使用して外してください。

① 注意事項：ディーラーオプションについて

- ・ディーラーオプション用品との併用はできません。
- ・…用品用のオプションカプラをエンジンスターター側でも使用するため、車両側の動きが正常に働かなくなります。



車種別取付資料

ES-89Light — 配線する信号はⒺ表示です。

BOX No. 139411

| | | | | | | |
|------|-----|------------|----------------|----------|--------|-------------------|
| 車両情報 | ホンダ | N-BOX | 平成23年12月~29年8月 | JF1/JF2系 | 2/4ページ | Type N.L. Opt. |
| | | N-BOX+ | 平成24年 7月~ | JF1/JF2系 | | |
| | | N-BOXスラッシュ | 平成26年12月~ | JF1/JF2系 | | |

❗ プッシュスタート&セキュリティアラーム付き (全車)

❗ ヒューズBOXの外し方

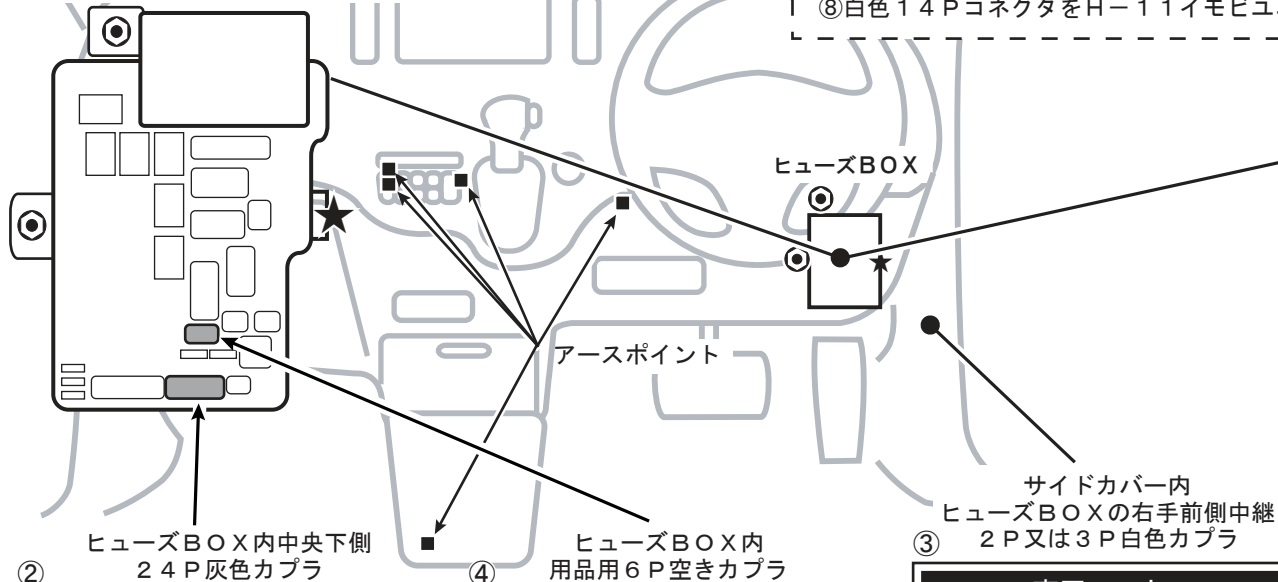
専用ハーネスVH201Eまたは、VH202Eの白色4Pコネクタは、ヒューズBOX裏側のカプラへの割込接続となります。接続作業を行うためには、ヒューズBOXを手前下側に引き出して、作業スペースの確保が必要です。

- ①ヒューズBOX表側の車両カプラ (10個) の接続を外す。
- ②ヒューズBOX下側の車両カプラ (3個) と、右手前側の車両のカプラ (3個) の接続を外す。
- ③車両ボルト (2本) と、右側のツメ (★) を外す。
- ④ヒューズBOXを手前側に引き出す。

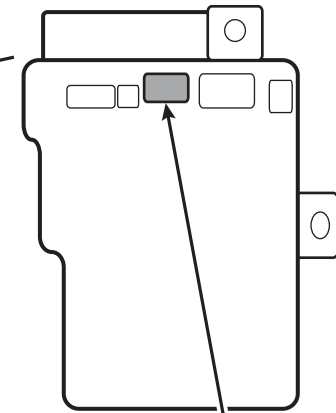
❗ 専用ハーネス (VH201EまたはVH202E) の取り付け方法

- ①白色4Pコネクタを割込接続する。
- ②白色24Pコネクタを割込接続する。
- ③白色2P (VH201E) または白色3P (VH202E) コネクタを割込接続する。
- ④白色6Pコネクタを接続する。
- ⑤アース (黒色) を車体アースボルトに固定する。…下記の■マークを参考にして、いずれかの車両側アースポイントへ、固定してください。(アース線の車体アースへの固定が不完全で接触不良等を起こすと、エンジンスタートによる始動ができなくなり、車両側の動作が不安定になる場合があります。)
- ⑥白色7Pコネクタをリレーユニット (受信機) のCN1に接続する。
- ⑦白色4Pコネクタをリレーユニット (受信機) の4Pカプラに接続する。
- ⑧白色14PコネクタをH-11イモビユユニットのカプラに接続する。

ヒューズBOX拡大図 (表側)



ヒューズBOX拡大図 (裏側)



❗ Pポジション配線して、フットブレーキで行う。(3/4ページ参照)

オートマチック車認識設定

配線・リレーユニットの取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

- ①車両のイグニッションをONにする。
- ②リモコンでSTOPを押す。
- ③車両のブレーキを踏み、受信機のアラーム音が変わった後(約3秒後)ブレーキを放す。
- ④車両のイグニッションをOFFにする。
- ⑤設定完了

※設定作業をしないとエンジンスタートでエンジンがかかりません。

配線内容 (専用ハーネス)

車両カプラ形状



専用ハーネス
白色24Pコネクタを割込接続

専用ハーネス
白色6Pコネクタを接続

専用ハーネス
白色2P又は3Pコネクタを割込接続

専用ハーネス
白色4Pコネクタを割込接続

❗ N-BOX+の平成24年7月~25年12月まで(マイナーチェンジ前)のカプラが3Pになります。

車種別取付資料

ES-89Light — 配線する信号はⓁ表示です。

BOX No. 139411

| | | | | | | |
|------|------------------------------|-------------------------------|--|----------------------------------|--------|-------------------|
| 車両情報 | ホンダ | N-BOX N-BOX+ N-BOXスラッシュ | 平成23年12月~29年8月 平成24年 7月~ 平成26年12月~ | JF1/JF2系 JF1/JF2系 JF1/JF2系 | 3/4ページ | Type N.L. Opt. |
| | ❗ プッシュスタート&セキュリティアラーム付き (全車) | | | | | |

重要!

L端子の配線について

- ❗ NAエンジン車(アイドリングストップ装置付き車)は必ずL端子の配線をしてください。L端子を配線しないと、エンジン始動の検出が正常にできません。また、ターボ車もエンジン始動の検出が不安定な場合は、L端子を接続してください。
- ❗ L端子の接続先は、エンジンルーム内にあります。ハーネスセット(商品コード:EP152またはEP153)に付属の延長ケーブル(2.5m)を使用して、配線をしてください。

- ❗ Pポジション配線して、フットブレーキで行う。

オートマチック車認識設定

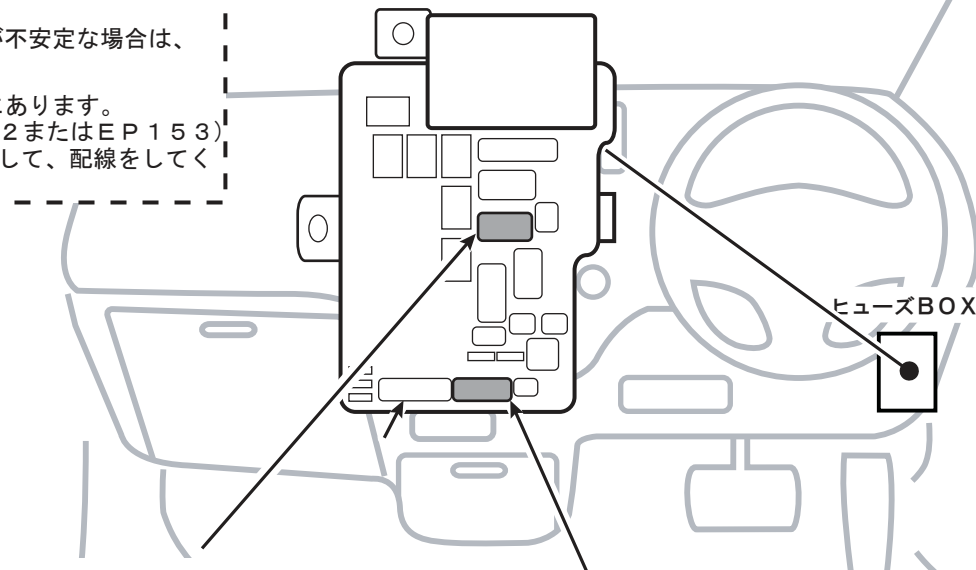
配線・リレーユニットの取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

- ① 車両のイグニッションをONにする。
 - ② リモコンでSTOPを押す。
 - ③ 車両のブレーキを踏み、受信機のアラーム音が変わった後(約3秒後)ブレーキを放す。
 - ④ 車両のイグニッションをOFFにする。
 - ⑤ 設定完了
- ※設定作業をしないとエンジンスターターでエンジンがかかりません。

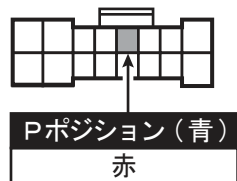
配線内容(受信機CN2線色)

車両配線色

ヒューズBOX拡大図(表側)

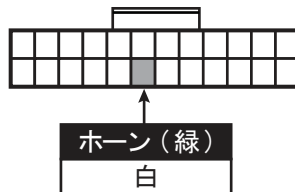


ヒューズBOX内右側
16P緑色カプラ



- ❗ 必ず配線してください。
(通常時: 0V、
フットブレーキを踏んだとき: 12V)

ヒューズBOX内中央下側
24P灰色カプラ

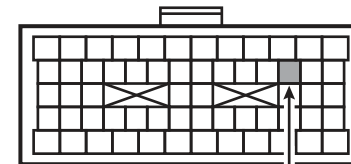


- ❗ 機能付き機種のみ配線

エンジンルーム内

- ❗ 年式により、L端子のカプラが異なります。

エンジンルーム内前方から見て右側(バッテリーの奥)エンジンコントロールECU右側の60P黒色カプラ



L端子(茶)
ベージュ

- ❗ 平成25年12月まで

エンジンルーム内から見て右側(バッテリーの奥)エンジンコントロールECU左側の80P黒色カプラ



L端子(茶)
ベージュ

- ❗ 平成25年12月~

- ❗ どちらのカプラ内にもベージュ配線は2本あるので注意してください。

車種別取付資料

ES-89Light — 配線する信号はⓁ表示です。

BOX No. 139411

| | | | | | | |
|------|-----|------------|----------------|----------|-----------|-------------------|
| 車両情報 | ホンダ | N-BOX | 平成23年12月~29年8月 | JF1/JF2系 | 4 / 4 ページ | Type N.L. Opt. |
| | | N-BOX+ | 平成24年 7月~ | JF1/JF2系 | | |
| | | N-BOXスラッシュ | 平成26年12月~ | JF1/JF2系 | | |

❗ プッシュスタート&セキュリティアラーム付き (全車)

❗ セキュリティ機能、またはオートロック機能を使用する場合、及び全てのドア開閉検出を行う場合は、別売のドア検出ユニット (EP030) を使用して、CN2のドア検出配線 (紫) は、必ず下記の2箇所に分岐接続してください。

❗ 注意事項 : CN2 配線の接続について

- 取り付けするエンジンスタートがドアロック/アンロック機能付きの場合は、エンジンスタートのCN2ハーネスのロック (灰色)、アンロック (黄色) は、車両側配線には接続せずに、必ず専用ハーネス (14P白色カブラのハーネスにテーピングされている短い灰色線と黄色線) に接続してください。

❗ Pポジション配線して、フットブレーキで行う。

オートマチック車認識設定

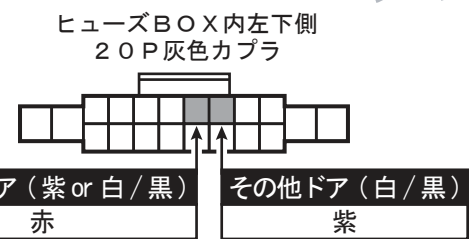
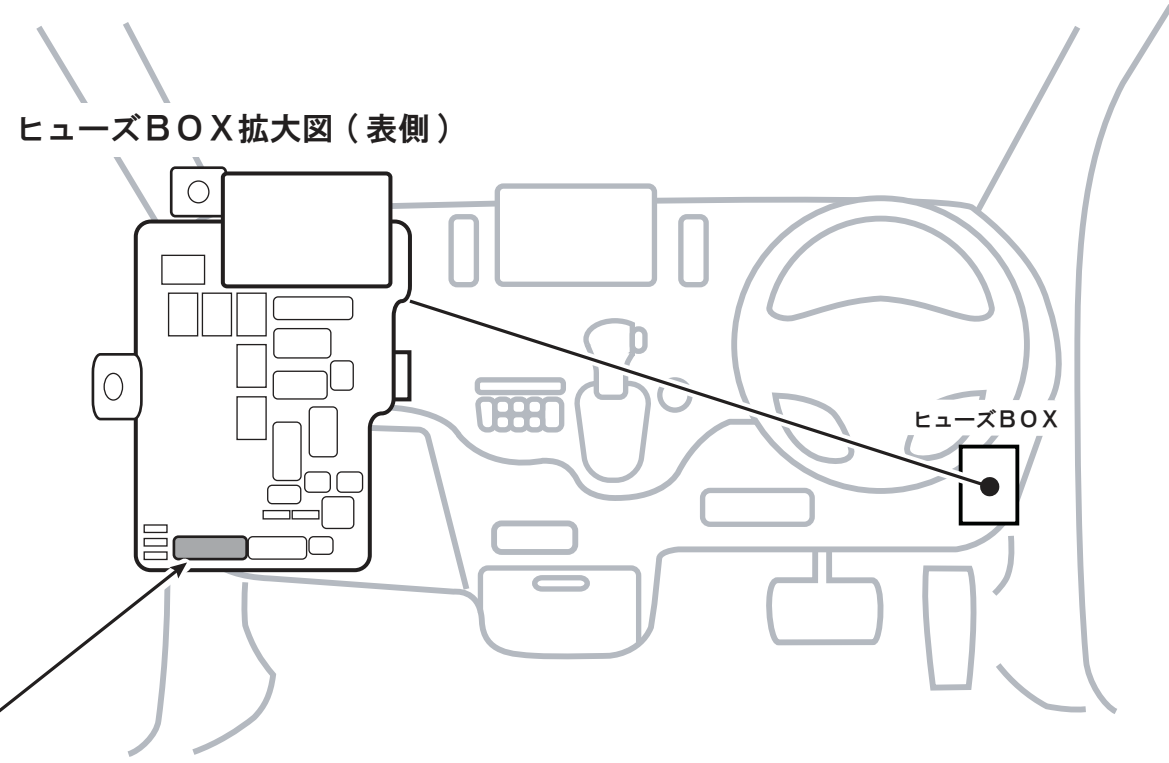
配線・リレーユニットの取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

- ① 車両のイグニッションをONにする。
- ② リモコンでSTOPを押す。
- ③ 車両のブレーキを踏み、受信機のアラーム音が変わった後 (約3秒後) ブレーキを放す。
- ④ 車両のイグニッションをOFFにする。
- ⑤ 設定完了

※ 設定作業をしないとエンジンスタートでエンジンがかかりません。

配線内容 (受信機 CN2 線色)
車両配線色

ヒューズBOX拡大図 (表側)



❗ ドア検出ユニットを使用しない場合は、CN2ハーネスの紫色線を運転席ドア配線に接続してください。(運転席ドアの開閉のみ検出)